



氏名
所属
学年

井上 紗羽
法学部
2年

留学先
留学期間

マレーシア（マラヤ大学）
2025/02/16~2025/3/9

留学レポート Study Abroad Report

○留学しようと思ったきっかけ

私は元々国際交流に興味があり、英語を学ぶことでより外国の人々と話せるようになりたいと思ったのと、マレーシアは他民族国家であり、日本とは大きく異なる文化を持っているので、異文化体験ができると思いマレーシアに留学することを決めました。

○プログラムの概要

プログラムには大阪公立大学を含む 7 つの大学からの日本人学生約 100 人と、日本人学生のサポート役としてマラヤ大学の学生約 30 人が参加していました。平日はマラヤ大学で英語の授業を受け、放課後はマレーシア伝統のダンスもしくは楽器を習う授業を受けたり、クアラルンプール周辺の観光地にバスで行ったりしました。平日の夜や土日は日本人学生 4 人とマラヤ大学学生 1 人の 5 人のグループで基本的に行動していました。



○授業

大学では Reading, Writing, Speaking, Grammar の 4 つの科目に分かれて授業を受けていました。午前 9 時～11 時に 1 限目、30 分間の休憩をはさんで 11 時半～13 時半に 2 限目があり、1 日に 4 時間英語の授業を 2 科目受けていました。留学初日に英語のテストを行い、そのテストの結果に基づいて約 20 人～30 人のクラスに分けられました。授業の課題はありませんでしたが、最終日にテストがあるので、授業内容を復習する必要がありました。授業では基本的に講義を聞くだけでなく、先生の問いかけに対して発言したり、自分の意見をもつことが求められました。授業の難易度はそこまで高くなく、ネイティブの先生の発音も分かりやすかったので、授業を受けるうえで問題はあまりありませんでした。日本では習う事のない英語の表現や文法を学ぶことができ、とても興味深く英語を学ぶことができました。授業ではグループワークが多かったので、クラスメイトと交流する機会がたくさんあり、同じクラスの日本人学生や現地の大学の学生と親交を深めることができました。

○食事

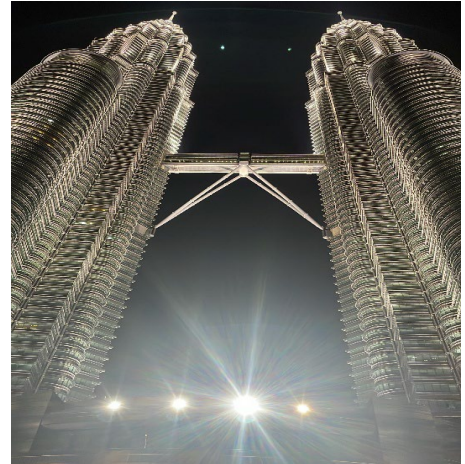
平日の朝と昼は大学で食事を取っていて、夜や土日は基本的にグループで街のレストランやショッピングモールで食べていました。マレーシアにはマレー料理だけでなく、日本でもよくあるファストフード店やインド料理、中華料理などの様々な国のレストランが多くあり、大きいショッピングモールの中には寿司や牛丼などの日本食レストランもありました。そのため万が一マレー料理が苦手だったとしても、他に色々な種類の料理を食べることができるので、食事の好みに関してはあまり心配する必要はないと思います。マレーシアには日本では食べたことのない美味しい料理がたくさんあったのですが、周りの友達ほとんど留学中にお腹を下していました。ショッピングモールや観光地にある有名なレストランの食事は安心して食べられますが、街中のレストランで出される生水や氷には注意した方が良いでしょう。



○休日の過ごし方

土曜日は皆でアクティビティを行い、日曜日はグループで自由行動をしていました。1 週目の土曜日はマレーシアの歴史的な都市マラッカに行きました。マラッカはオランダやポルトガルに統治されていた過去があるため、オランダ広場やポルトガル人が建てた教会などがあり、またチャイニーズタウンもあるなど多文化が共存するととても魅力的な場所でした。マラッカはカラフルで立派な建物が多く、ただ歩いて見ているだけでも楽しめるし、チャイニーズタウンで美味しい中華料理を食べたり、お土産を買ったりするなど、一日中楽しむことができました。ただ、ほぼ 1 日中外にいたので、暑さで体力がかなり消耗しました。実際、マラッカに行った後に体調を崩している友達が多かったので、暑さ対策を心掛ける必要があると思います。2 週目の土曜日は郊外の田園地帯に行って、様々なマレーシアの伝統工芸や料理を体験しました。ろうけつ染めという伝統的な方法で布に色を染めていくマレーシアの伝統工芸品、バティックを作りました。他にも凧揚げ体験をしたり、ロティ・チャナイという伝統料理を作ったり、

魚つかみをするなど様々なアクティビティをして、とても貴重で楽しい経験になりました。日曜日は行きたい場所をグループで相談して、自由に行動できました。私たちのグループは日曜日にセントラルマーケットというお土産がたくさんあるショッピングモールに行ったり、夜のツインタワーを見に行ったり、水族館に行ったりしました。日曜日はグループの皆で移動したり、食事をしたり、ショッピングをするなどほぼ1日中一緒に行動していたので、よりグループの仲を深まりました。



○気を付けた方がいいと感じたこと

私たちは首都であるクアラルンプールに滞在しており、比較的治安は良いと感じていましたが、マラッカに行った際財布やスマートフォンを盗まれた人がいたので、持ち物の管理は日本でいるときよりも注意する必要があると思います。具体的に言うと、服やカバンの周りから見えるポケットに貴重品を入れないようにして、スマホやパスポートはセキュリティバッグに入れて首から下げたり、身体に密着させるなどを心がけるようにしていました。

マレーシアのレストランでは基本的にお手拭きが出されることはないので、ウェットティッシュは常に持ち歩き、特にインド料理レストランでナンを食べるなど、直接食べ物を手で掴んで食べる前に、必ず手を清潔にするようにしていました。また、マレーシアのトイレではトイレトペーパーが切れていることが度々あるので、水に流せるティッシュを持ち歩いていました。

またマレーシアではイスラム教や仏教など様々な宗教を信仰している人が多く、日本とは大きく異なる宗教観を持っているので、文化の違いに戸惑うことはあっても、失礼にあたることがないように相手の人の文化をリスペクトすることを常に心に留めていました。

○全体の感想

海外に行くのは今回の留学が初めてであり、留学する前は海外でやっていけるか、自分の英語力でネイティブの方とコミュニケーションが取れるか非常に不安でしたがいざ始まってみると、不安になることがあっても、日本人同士で助け合ったり、現地の学生の方に相談したりして乗り越えられました。このプログラムでは十分なサポートを受けられるので、留学や海外の渡航が初めての方に向いている内容のプログラムだと思います。正直、日本人がとても多く、日本人同士では日本語を話してしまったりして、英語力が飛躍的に向上したとはいえませんが、今回の留学で現地の学生と親交を深めるうちに英語でもっと円滑なコミュニケーションが取れるようになりたいと思い、英語学習に対するモチベーションが上がりました。

今回の留学で得られた最も価値のあることは、色んな人と交流し、友達になれたことでした。多くの日本人学生、マラヤ大学の学生と親交を深め、留学が終わった今でもSNS上でやり取りをしています。様々な人々と共に行動することで、意見が異なったときの対処法、相手の立場に立って考えること、心に余裕を持つことの重要性を学びました。グループで行動する上で困難なことはたくさんありましたが、一緒に問題を解決することで絆や信頼がより深まりました。

3週間という短い間でしたが、この時間は私にとって人生で最も楽しく、夢のような時間でした。もし留学を迷っている方がいれば、ぜひ挑戦してみてください！必ず価値のある体験になると思います。

